

西尾市地区別防災カルテ

①基本情報

地区No	1
地区名	米津小学校

●地区の概況

市最北端に位置し、北部・西部の平野部は農地として利用されている。南東部の名鉄西尾線・米津駅周辺は市街地が形成されている。南側を矢作川が東西に横切っている。北側の国道23号（岡崎バイパス）と南北に走る主要地方道豊田一色線が幹線道路となっている。地形は主に谷底平野とその両側の段丘からなっており、平野部の朝鮮川周辺は標高が低くなっている。

●人口の状況 ※令和2年国勢調査より

世帯数	2841 世帯	
65歳未満	5511 人	77.4 %
65歳以上	1535 人	21.6 %
合計	7120 人	

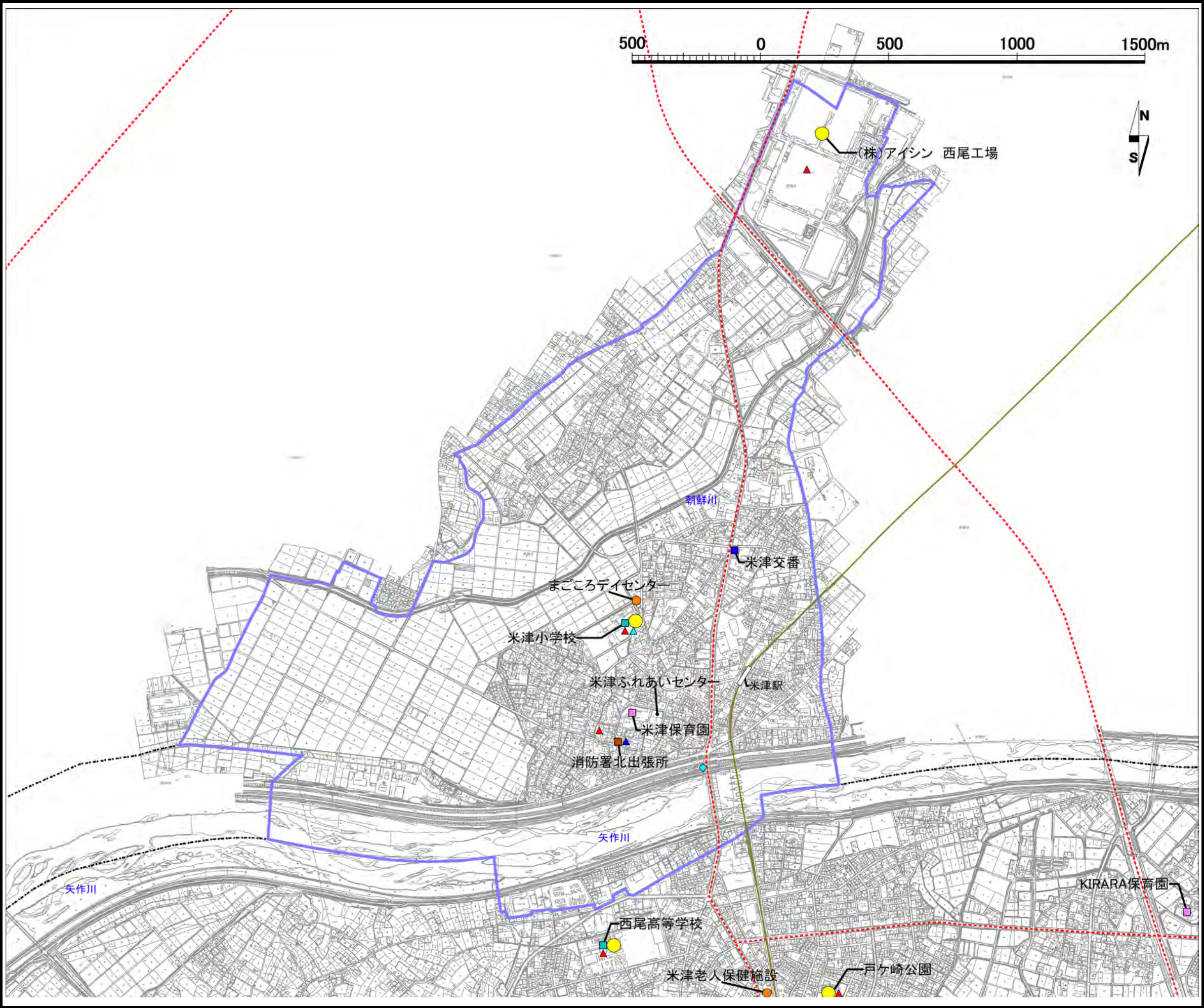
※合計値は年齢不詳の人口も含む

●地区の課題

洪水時は、朝鮮川沿いを中心に浸水被害が発生するが、川を渡らないと避難所に避難できない地域がある。
地震時は、南西部や米津小学校の北西部は液状化の危険性が高いほか、住宅密集地では延焼火災の危険性がある。また、地区西部に津波が到達するおそれがある。

●凡例

指定緊急避難場所・指定避難所	学校
津波一時待避所	幼稚園・保育園等
福祉避難所	防災倉庫・防災資機材庫・その他備蓄倉庫等
市役所・支所等	水防倉庫
警察署等	飲料水兼用耐震性貯水槽
消防署等	防災活動拠点
救急病院	衛生施設
水位観測所	その他の施設
雨量観測所	
小学校区界	市町村界
鉄道	緊急輸送道路



西尾市地区別防災カルテ

②洪水被害・土砂災害

地区No	1
地区名	米津小学校

●地区別大雨等被害の特性

朝鮮川周辺で5m以上10m未満の浸水が想定されている。
洪水時に指定避難所として開設する予定の米津小学校も浸水被害を受けるおそれがあるため、当地区外にある鶴城体育館と鶴城中学校も避難先として指定されている。

●避難環境評価

避難所収容者数	1386 人
避難者数	7120 人
最長避難距離	約 2.5 km

※避難所収容者数は洪水時のみの人数

●最大浸水深

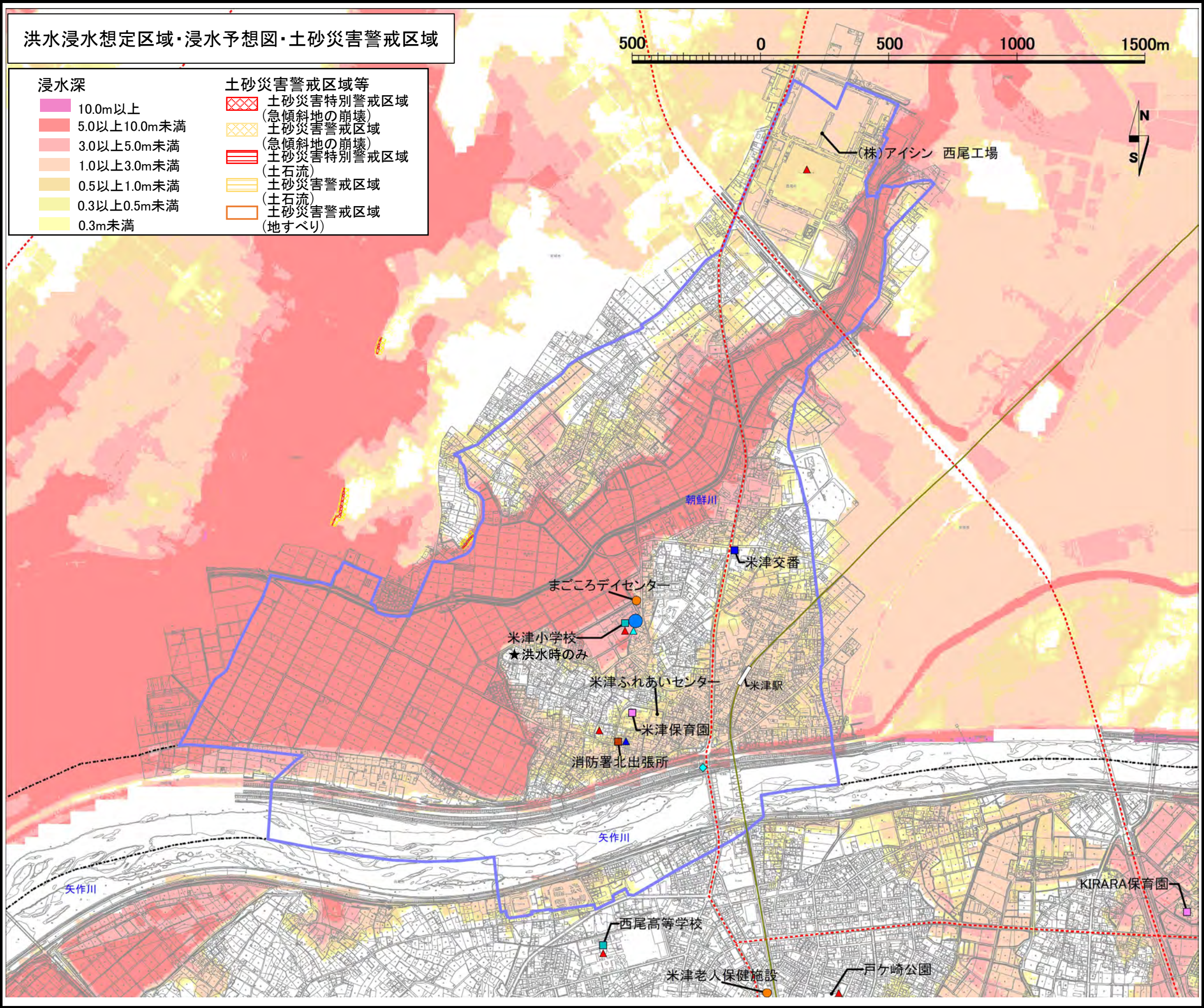
対象全河川(重ね合せ)	10m以上
矢作川	10m以上
矢作古川・広田川・須美川・安藤川	範囲外
朝鮮川	3m以上5m未満
矢崎川	範囲外
北浜川・二の沢川	範囲外
乙川	範囲外
鳥羽川	範囲外
八幡川	範囲外

●土砂災害リスク

土砂災害警戒区域(急傾斜地)	0 箇所
土砂災害特別警戒区域(急傾斜地)	0 箇所
土砂災害警戒区域(土石流)	0 箇所
土砂災害特別警戒区域(土石流)	0 箇所
土砂災害警戒区域(地すべり)	0 箇所

●凡例

指定緊急避難場所・指定避難所(洪水・土砂時使用可)	学校
福祉避難所	幼稚園・保育園等
市役所・支所等	防災倉庫・防災資機材庫・その他備蓄倉庫等
警察署等	水防倉庫
消防署等	飲料水兼用耐震性貯水槽
救急病院	防災活動拠点
水位観測所	衛生施設
雨量観測所	その他の施設
小学校区界	市町村界
鉄道	緊急輸送道路



西尾市地区別防災カルテ

③地震被害

地区No	1
地区名	米津小学校

●地区別地震被害の特性

過去地震最大モデルでは、地区北部と南部の住宅街を中心に最大で震度6強となり、その他の地区は震度6弱となる。（下図参照）
南西部では液状化の危険度が極めて高い。
南部の住宅密集地では延焼火災の危険性がある。

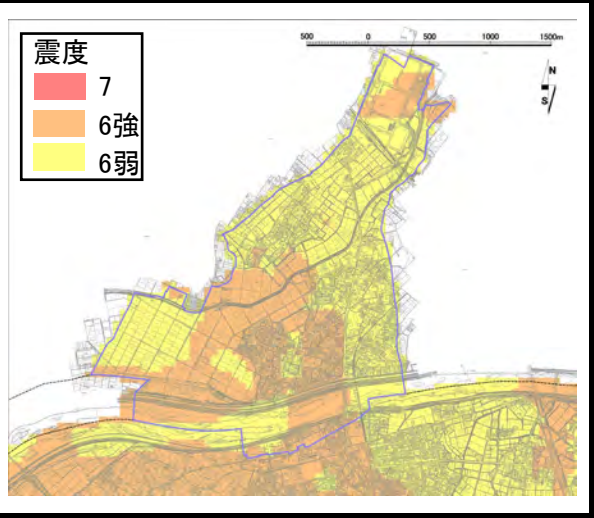
●避難環境評価 ※平成26年地震被害予測調査結果より

避難者数 ※津波による建物倒壊避難者も含む	1070 人
--------------------------	--------

●被害想定 ※平成26年地震被害予測調査結果より

建物全壊数	225 棟
建物半壊数	327 棟
死者数	9 人
重傷者数	12 人

●過去地震最大モデル震度分布図



●凡例

- 指定緊急避難場所・指定避難所（地震時使用可）

福祉避難所

市役所・支所等

警察署等

消防署等

救急病院

水位観測所

雨量観測所
- 学校

幼稚園・保育園等

防災倉庫・防災資機材庫・その他備蓄倉庫等

水防倉庫

飲料水兼用耐震性貯水槽

防災活動拠点

衛生施設

その他の施設
- 小学校区界

鉄道

市町村界

緊急輸送道路

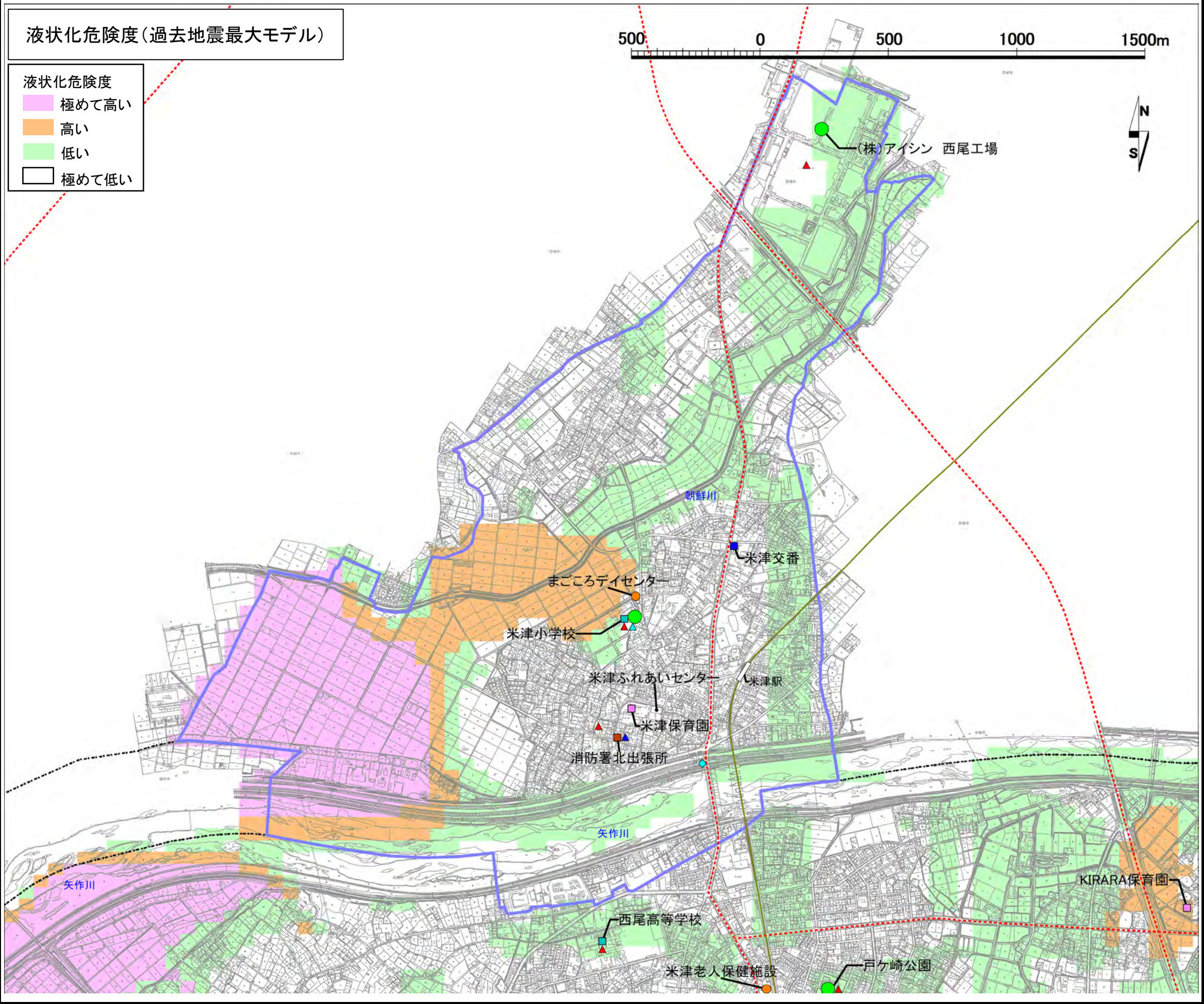
液状化危険度（過去地震最大モデル）

- 液状化危険度
- 極めて高い

高い

低い

極めて低い



西尾市地区別防災カルテ

④津波被害

地区No	1
地区名	米津小学校

●地区別津波被害の特性

朝鮮川沿いの一部が浸水想定区域となっていることから、矢作川も含め、津波が遡上することを想定し、不用意に川に近づかないことが重要である。
浸水域は想定より広がる可能性があるため、危険を感じたら、すぐに避難を開始することが重要である。

●避難環境評価

津波一時待避所収容者数	0 人
避難所収容者数※1	1642 人
避難者数	7120 人
津波浸水想定区域外までの距離※2	約 - km

※1津波被害における避難所収容者数は「命を守った後に避難生活を送ること」を想定して算出している。

※2西尾市津波避難計画（令和5年4月修正）に記載された校区のみ記載している。

●津波浸水深

最大クラスの津波の基準水位	
最大津波水位	0.5m以上1m未満
過去地震最大モデル（参考）	
最大津波浸水深	1m以上2m未満

●津波発生時の避難先

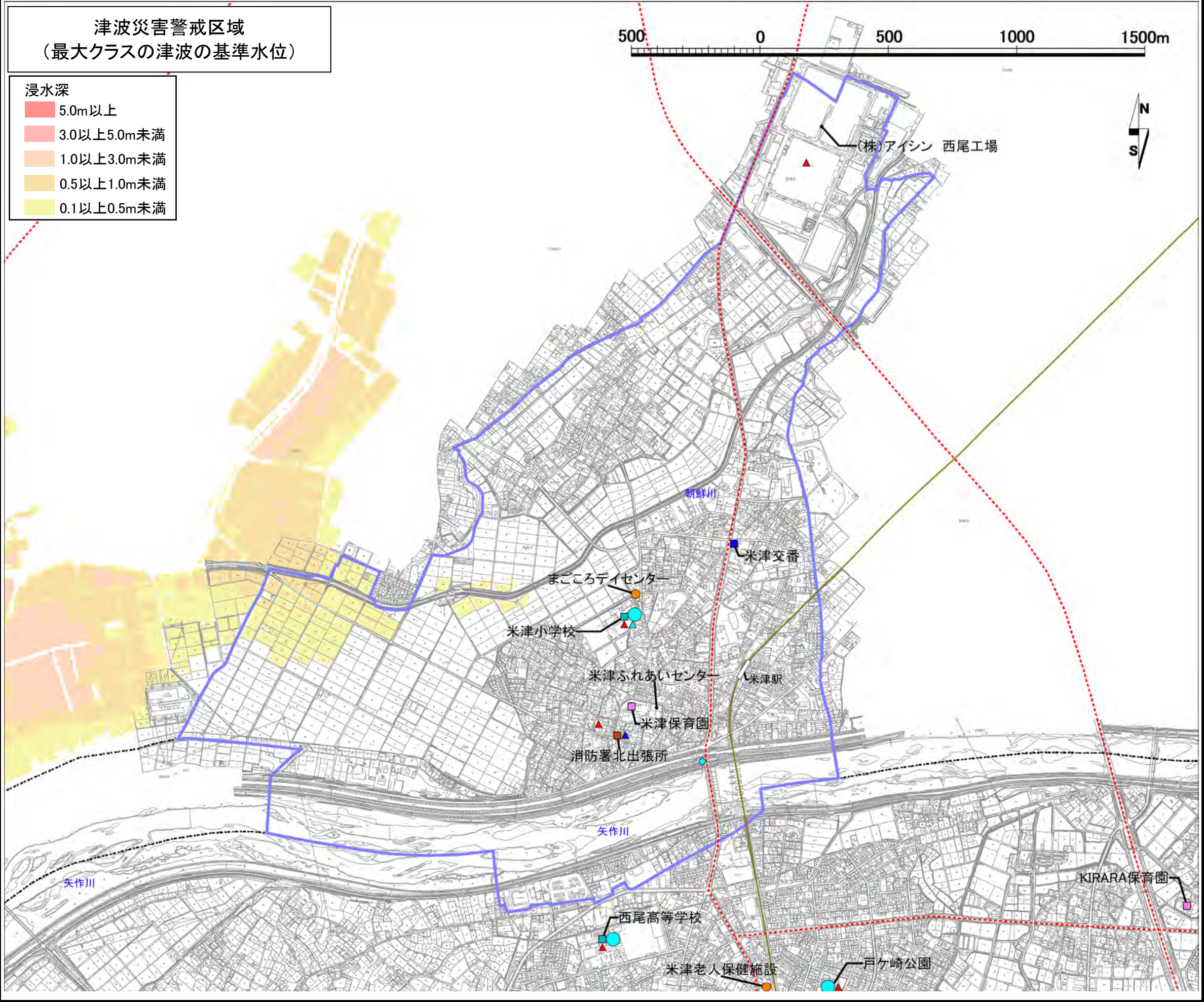
避難目標：米津小学校

●凡例

指定緊急避難場所・指定避難所（津波時使用可）	学校
津波一時待避所	幼稚園・保育園等
福祉避難所	防災倉庫・防災資機材庫・その他備蓄倉庫等
市役所・支所等	水防倉庫
警察署等	飲料水兼用耐震性貯水槽
消防署等	防災活動拠点
救急病院	衛生施設
水位観測所	● その他の施設
雨量観測所	
小学校区界	市町村界
鉄道	緊急輸送道路

津波災害警戒区域
（最大クラスの津波の基準水位）

浸水深
5.0m以上
3.0以上5.0m未満
1.0以上3.0m未満
0.5以上1.0m未満
0.1以上0.5m未満



西尾市地区別防災カルテ

⑤高潮被害

地区No	1
地区名	米津小学校

●地区別高潮被害の特性

海岸から遠く、浸水想定区域内に家屋等がないが、矢作川付近では高潮の遡上が予想されるため、不用意に川に近づかないことが重要である。

●避難環境評価

避難所収容者数	0 人
避難者数	- 人
最長避難距離	約 - km

●高潮浸水深

最大高潮浸水深	3m以上5m未満
---------	----------

●凡例

指定緊急避難場所・指定避難所
(高潮時使用可)

福祉避難所

市役所・支所等

警察署等

消防署等

救急病院

水位観測所

雨量観測所

学校

幼稚園・保育園等

防災倉庫・防災資機材庫・
その他備蓄倉庫等

水防倉庫

飲料水兼用耐震性貯水槽

防災活動拠点

衛生施設

その他の施設

小学校区界

市町村界

緊急輸送道路

鉄道

